

宇宙開発の現状報告

(平成 23 年 9 月 21 日(水曜日)～平成 23 年 9 月 27 日(火曜日))

平成 23 年 9 月 28 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

- H- A ロケット 19 号機による情報収集衛星光学 4 号機の打上げ結果について
三菱重工業株式会社および JAXA は、平成 23 年 9 月 23 日 13 時 36 分(日本標準時)に、種子島宇宙センターから情報収集衛星光学 4 号機を搭載した H- A ロケット 19 号機(H- A・F19)を打ち上げたと発表した。
ロケットは正常に飛行し、情報収集衛星光学 4 号機を分離した事が確認された。
- 平成 23 年度「宇宙の日」全国小・中学校作文絵画コンテストの表彰式について
9 月 24 日(土曜日)、日本科学未来館にて、「宇宙の日」全国小・中学校作文絵画コンテストの表彰式が開催された。同コンテストは、9 月 12 日の「宇宙の日」の記念行事として、小・中学校を対象に、文部科学省ほか 6 法人主催(宇宙開発戦略本部後援)で実施したもの。今年度は「さあ出発だ！宇宙への冒険旅行」をテーマに、4 月 25 日～7 月 31 日の期間で作文及び絵画を募集し、審査を経て、文部科学大臣賞、宇宙開発担当大臣賞等を決定(応

募総数作文の部[小学生:1,049 点、中学生:1,250 点]、絵画の部[小学生:17,800 点、中学生:1,953 点]。なお、表彰式には主催者として奥村文部科学副大臣が出席し、表彰状の授与等を行った。また、古川宇宙開発担当大臣が出席するとともに、「はやぶさ」映画化に関するタイアップの一環として、佐野史郎氏及び川口 JAXA 教授が特別ゲストとして出席した。

宇宙開発に関する海外の動向

- プロトンロケットによる軍事衛星の打上げに成功 【露】
9 月 20 日(火曜日)22 時 47 分(世界標準時、以下同じ)、ロシアは、バイコヌール宇宙基地より、プロトン M/ブリーズ M ロケットを打ち上げ、同国の軍事衛星「コスモス 2473 (Kosmos-2473、Cosmos-2473)」の所定の軌道投入(静止トランスファ軌道)に成功した。なお、同打上げは、8 月 17 日の静止通信衛星「エクスプレス AM4 (Express-AM4) (ロシア衛星通信会社(RSCC))の軌道投入失敗以来、プロトン M/ブリーズ M ロケットによる最初の打上げとなる。
- アリアンロケットによる通信衛星の打上げに成功 【仏等】
9 月 21 日(水曜日)21 時 38 分、アリアンスペース社は、ギアナ宇宙センターよりアリアン 5ECA ロケットを打ち上げ、アラブ通信衛星機構(アラブサット)の通信衛星「アラブサット 5C (Arbsat-5C)」、及び通信衛星運用企業 SES 社(本社:ルクセンブルグ)の静止通信衛星「SES-2」の所定の軌道投入(静止トランスファ軌道)に成功した。

- ISECG、国際探査ロードマップ「GER」を公開
9月22日(木曜日)、国際宇宙探査協働グループ「ISECG」は、国際探査ロードマップ「GER」をホームページ上で公開した。
- ゼニットロケットによる通信衛星の打上げに成功 【露】
9月24日(土曜日)20時18分、シー・ローンチ社は、オデッセイ海上プラットフォームよりゼニット 3SL ロケットを打ち上げ、ユーテルサット社の商業通信衛星「アトランティックバード 7 (Atlantic Bird-7)」の所定の軌道投入(静止トランスファ軌道)に成功した。
なお、今回のシー・ローンチ社の打上げは、2010年に同社が米連邦破産法を脱却してから最初の打上げとなる。
- NASAの上層大気調査衛星「UARS」、大気圏に再突入 【米】
9月24日(土曜日)、NASAは、上層大気調査衛星「UARS」(2005年12月15日機能停止、乾燥質量5,668 kg)について、24日3時23分~5時9分に大気圏に再突入したと発表した。正確な再突入時刻及びデブリ落下地点は確定されていない。同時間帯に、UARSはアフリカ大陸東岸、インド洋、太平洋、カナダ北部、北大西洋及び西アフリカ上空を通過し、日本上空は通過しなかったと考えられる。NASAは、総重量1,200ポンド(約544 kg)となる26個のデブリが燃え尽きずに地上に到達した可能性があるものの、これまで人的及び物的被害の報告は受けていないとのこと。
また、9月26日(日本時間)、日本の文部科学省は、同日付の内閣官房情報連絡室の発表として、日本国内からの被害報告はないとの発表を行った。